

令和 1 年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和1年度「ゆから」の相談支援利用者数は130名。法人関係利用者が117名、町他事業所利用者が10名、在宅者が3名の計画相談を実施してきた。新規として2名（行政機関：苫小牧市2件）が新たに計画相談の契約を行い、サービス事業所の移動等により3名（行政機関：苫小牧市・千歳市・白老町）の契約が変更された。

今年度も関係機関と連携・情報共有し、計画相談を進めて行った。サービス等利用計画の作成に当たっては、福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施した。

東胆振圏域での相談事業所連絡会や町内相談支援部会議など各種研修等に出席し、スキルアップと地域の課題等について取り組み、資源の確認や課題抽出、計画相談技術の向上を図った。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	初期計画(更新)	継続計画	合計
4月	4件	7件	11件
5月	4件	18件	22件
6月	10件	7件	17件
7月	4件	26件	30件
8月	7件	28件	35件
9月	5件	18件	23件
10月	3件	7件	10件
11月	2件	18件	20件
12月	5件	15件	20件
1月	4件	27件	31件
2月	6件	27件	33件
3月	7件	15件	22件
計	61	213	274

(新規・更新 : 法人内-52件、法人外-9件)

(継続 計画 : 法人内-198件、法人外-15件)

※重複障がいあり

単位（人）

実人数	身体障がい	知的障がい	精神障がい
130	14	115	13

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。

自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

- (1) 東胆振圏域指定相談支援事業所連絡協議会並びに東胆振管内住居系事業所連絡会議に参加し、圏域の実態の状況把握、情報収集等、東胆振 5 市町におけるサービス利用状況等の情報の交流、計画相談の方法や技術の学習を行った。
- (2) 白老町自立支援協議会相談支援部会に出席し、スキルアップと地域の課題等について取り組んだ（全 3 回）。
- (3) 新型コロナウイルス感染状況について、胆振圏域障がい者総合支援センター等との連携により情報交流を行った。